

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號三第 卷四第

行發日一月三年六正大

論 說

資本	文學博士	內田銀藏
植民地ノ分類ニ就キテ		山本美越乃
支那經濟思想ノ出發點(一)	法文學士	小島祐馬
體質廢頽問題(二)	文學博士	財部靜治
經濟心理學ノ組織的研究(三)		米田庄太郎

時事問題

取引所増資問題	文學博士	戶田海市
米獨斷交ト我經濟界	文學博士	小川郷太郎
毛羊問題	文學博士	神戸正雄

雜 錄

經濟雜話(九)	文學博士	田島錦治
米國鐵道從業者八時間勞動問題	法學士	河田嗣郎
露西亞ノ國民經濟ニ於ケル歐洲的要素		米田庄太郎
維新後ノ戶數ト人口トノ關係	法學士	本庄榮治郎
あーのるどといんびト經濟書	商學士	武藤長藏
佛蘭西財政及經濟學者ぼーりゆー逝ク	法學博士	神戸正雄

新著紹介

雜 錄

經濟雜話第九

田 島 錦 治

(二十六) 際物及ヒ際物師

(二十七) 過猶不及

(二十八) 官吏ト營利的業務トノ關係

(二十九) 同上古典

(二十六) 際物及ヒ際物師

諺ニ六日ノ菖蒲十日ノ菊ト云フハ是レ時節後レノ財貨ハ其價值ヲ減シ又ハ失フトノ經濟學理ヲ簡明ニ道破シタルモノナリ元來投機の商業及ヒ保險業ハ時ニ從フ效用 (time-utility) ヲ作出ス特ニ際物師ナル商人ノ一階級ハ造次ニモ顛沛ニモ時節適合ノ貨物即チ際物ヲ供給スルコトニ留意ス之ヲ小ニシテハ縁日ノ小商人年ノ市「クリスマス」ノ市西ノ市「バツタラ」市五節旬ノ市ノ商人ヨリ之ヲ大ニシテハ内外國價ノ引受ヲ爲ス銀行團交戰國へ軍需品ヲ供給スル實業團ニ至ル迄

雜 錄 經濟雜話第九

何レカ際物師ニ非サランヤ戰爭ノ結果一時杜絶セル輸入品ノ代用品ヲ急遽製出セントシテ各地ニ勃興セル工業會社ヤ海外ニ内地製品ヲ輸出シテ一時缺乏セル歐米製品ノ市場ヲ填充スルコトニ銳意セル幾多ノ商業者モ若シ永遠ノ目的ヲ有シ確實ナル基礎ニ因リ周到ナル打算ヲ以テ爲スモノニ非サル限リハ亦際物師タルヲ免カレサルヘシ而シテ此種ノ者ノ多數ヲ占ムルハ粗製濫造ノ非難ノ聲ノ喧シキニ徴シテ明白ナリ實ニ浩嘆ニ堪ユサルナリ然レトモ際物師ハ畜ニ實業界ニ於テノミナラス政治界ニモ學問界ニモ近頃其眦梁跋扈ヲ見ルハ吾人ノ特ニ反省ヲ要スル所ナリ内閣ヤ政黨政派ノ粗製ハ姑ク之ヲ措キ墮落青年ノ愛顧ヲ求ムル三文文學ヤ成金筋ノ指喚ニ本ツク代辯學說ノ濫造の際物カ際物市上否際物紙上ヲ賑ハシツツアリ昨日萬國平和ノ福音ヲ宣傳シタル碩學ハ今日戰爭ノ成ル可ク長引タコトカ我國民ノ利益ナリト勸説シ朝タニ農村ノ青年會ニ泣ミテ農本主義ヲ力説シテ朴實ナル村老ニ隨喜ノ涙ヲ流サシメタル博識ハ夕ヘニ都會ノ講演場

第四卷 (第三號 一二三) 四三三

ニ立チテ商工立國ノ急務ヲ喋々シテ伶俐ナル市民ノ大囑采ヲ博シテ意氣揚々タリ嗚呼此等無形の際物モ亦多少ノ經濟的價值ヲ有スル以上ハ財貨 (economic goods) ノ一種タル可ク而シテ之カ生産者即チ無形の際物師ハ時ニ從フ效用 (time-utility) ヲ作り出ス所ノ一生産者ト謂フ可キ歟呵々々 (二十七) 過猶不及

時間勵行即チ punctuality ノ行ヒハ從來我邦人ノ最短所トシテ指摘セラルル所ノモノナリ京都ノ或ル集會ニ蒞ミテ謂ユル京都時間ノ少クトモ一時間ノ懸直アルニ驚キタル吾人ハ更ニ他地方ノ地方時間ノ一層不正確ナルニ呆然タラサルヲ得ス知識階級ニシテ而カモ數年歐米ノ空氣ヲ呼吸シタリト稱スル紳士モ再ヒ内地ノ水ヲ飲メハ幾クモ無クシテ元ノ木阿彌ニ化シ去ルヲ常トス余ハ種々ノ學會宴會等ニ列シテ屢々不快ヲ感スルハ年長者カ却テ割合ニ「はんくちゅある」ニシテ少壯者カ之ニ反シ而カモ此等少壯者ハ自由平等主義ヲ如何ニ履キ違ヘケン先着セル長者ニ對シテ何等遅刻ノ詫言ヲモ述ヘス甚シキニ至リテ

ハ尙ホ空席トナレル上座ニ直チニ着キテ平然タル者アルコト是ナリ苟モ高尚ナル精神の勞力ヲ以テ其天職ト爲ス者カ時間勵行ノ念ニ乏シク且禮節ノ何タルヲ辨マヘサルニ於テハ一般社會特ニ商工業者ノ不確實不道德ヲ責ムルモ亦何ノ益アラシヤ余輩ハ深ク身カラ猛省セサルヘカラナルナリ

我邦人ハ概シテ時間ニ後ルルヲ意トセサルコト前述ノ如シ而シテ更ニ怪訝ニ堪エサルハ之ト正反對ノ行爲カ近年著シク現出シタルコト是ナリ即チ漫リニ時間ヲ繰上クルノ風習ナリトス其最モ著ルシキ例ハ定期刊行ノ雜誌カ半月モ以前ニ發賣セラレ名士ノ大病ヲ傳フレハ早ク既ニ之カ傳記ヲ著ハス者アリ翌朝ノ事實既ニ前日ノ夕刊新聞ニ詳細報道セラルルノ奇觀ヲ呈ス響キハ聲トナリ影ハ形トナリ疑心ハ暗鬼ヲ生シ想像ハ事實ト認メラレ人心ハ益々神經過敏トナリ人情ハ輕薄ニ陷キリ慎重ノ念ハ日ニ減シ篤實ノ行ハ月ニ減フ嗚呼是レ國民全般ノ一大病弊ナリ此病弊ニシテ根本的ニ療治セラルルニ非スハ徒ラニ

經濟界ノ一方面ノミニ向テ着實ヲ望ミ粗濫ヲ戒ムルモ亦何ノ益カアラン譬ヘハ杯杓ノ水ヲ以テ旱田ニ溉カントスルカ如キノミ舊臘三十一日午前ニ逸早クモ余某氏ノ新年賀狀ヲ受取リタリ仍テ一詩ヲ獲タリ左ニ錄シテ本話ノ結辭ニ代フ

大正五年除夕作 赤城生

唯看舉世趁新奇 迂拙忘吾鬢若絲

饑歲酒杯將酌處 何人既寄賀春詞

(二十八) 官吏ト營利的業務トノ關係

現時ノ立憲國ノ官吏ハ其全力全時間ヲ竭シテ其公務ニ軼掌ス可キ者ナルヲ以テ「本屬長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及ヒ職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス」又「本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス」又「官吏并ニ其家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接トヲ問ヘス商業ヲ營ムコトヲ得ス」又「官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及問接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス」又「官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フ

コトヲ得ス」以上列舉セルハ明カニ我現行官吏服務規律(明治二十年七月三十日勅令第三十九號)ニ規定セル所ナリ然レトモ實際ニ於テ此等規定カ果シテ嚴格ニ遵守セラルルヤ否ヤ余輩ニ疑ナキ能ハス此等規定ハ一々本屬長官ノ許可云々トアルカ故ニ一見本屬長官ハ此等規定外ニ置カルルカ如ク見ユレトモ法律ノ精神ヨリイヘハ本屬長官ハ先ツ自己ヲ正フシテ下僚ニ模範ヲ示ス可キ者ナルカ故ニ一層嚴格ニ此等規定ヲ實踐躬行スヘキ責務アルハ論ヲ竣タス余輩ハ久シキ以前ヨリ某々國ノ大官カ其官職ヲ利用シ商人特ニ相場師ト結托シテ不義ノ富ヲ累ネタルノ惡例ヲ耳ニスルコト屢々ナリキ而シテ昨今米國ニ於テ曩日同國大統領カ交戰國ニ致シタル平和提議ノ内容ヲ某官カ某々等ニ漏洩シタルノ嫌疑事件ヲ視タリ余輩ハ我東洋君子國ニ斯ノ如キ醜汚事件ノ發生セサラムコトヲ望ムヤ切ナリ且我服務規律ニ依レハ「官廳ノ工事ヲ受負フ者官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者官廳ノ補助金ヲ受クル起業者官廳ノ用品ヲ調達スル者官廳ト諸般ノ

契約ヲ結フ者等ト直接ニ關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ彼等ノ饗燕ヲ受クルコトヲ得ス。此直接ニ關係トハ幾許ノ程度ナルヤ稍明瞭ヲ缺クト雖近年我國ノ大官カ地方ニ出張スルニ當リ所在富豪ノ饗應ヲ受ケ往々其邸宅ニ宿泊スルコトアルカ如シ國庫ノ補助ヲ受クル某々會社ノ時々開催スル宴會ハ其賓客ノ顯貴ナルト其献立ノ豪華ナルトノ點ニ於テ世評嘖々タリ余輩ハ切ニ是等ノ傳説カ眞事實ニ非サルカ爲一再ヒ人ノ口舌ニ上ラサルニ至ランコトヲ望ムヤ切ナリ且余輩モ官吏トシテ深ク自ら戒慎シ恐懼スル所ナカル可カラス

次ニ一言ヲ要スルハ官吏カ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得サレトモ其株主トナルハ任意ナルノ點是ナリ余輩ノ所見ニ從ヘハ普通ノ株主ハタトヘ當局企業者 (arbeitende Unternehmer) ニ非ストモ亦企業者ニ外ナラス官吏服務律ノ法律的精神ヨリ立説スレハ官吏ヲシテ任意ニ何レノ會社ノ株主トモナルヲ得セシメ自由ニ其株券ヲ賣買スル

ヲ得セシムルハ是レ彼等ヲシテ間接ニ商業ヲ營マシムルコトトナリ又間接ニ相場商業ニ關係セシムルコトトナリ明カニ同法律ノ他ノ二箇ノ條文ニ抵觸スルコトトナルヘシ故ニ余輩ハ官吏ヲシテ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營利會社ノ株主タルヲ得セシメサルヲ正當ト信ス然ラハ如何ナル場合ニ本屬長官ハ官吏ニ株主タルノ許可ヲ與フ可キ乎トイフニ是レ輕々ニ論斷スルヲ得スト雖官吏ニ任命セララル以前ニ於テ既ニ某會社ノ普通株主タルモノハ其會社ノ性質カ官吏トシテ其株主タルコトヲ許容シ得ルカ如キモノナル場合ニ限り依然之カ株主タルコトヲ認許スルカ如キ方法ヲ取ル可キナリ然レトモ余輩ハ原則トシテ官吏タルモノハタトヘ法律上禁止の明文ナクトモ株式事業ノ如キ營利的事業ニ關係スルコトハ勉メテ之ヲ避ク可キ者ナリト主張スルモノナリ元來官吏ノ俸給ハ其最高ナルモノト雖決シテ株式企業ニ出資スルヲ得ル程餘裕アルヘキモノニ非ス若シ幾分ノ餘裕アラハ彼等ノ所得ハ所謂不確定的勤勞所得ニシテ確定的資産所得

ニ非サルカ故ニ第一ニ生命保險カ養老保險ノ掛
金ニ融出シ次ニ郵便貯金次ニ國債等ノ順序ヲ以
テ貯金スヘキモノニシテ決シテ是等ヲ舍キテ第
一ニ投機的性質ヲ有スル株式ノ募集ニ應ス可キ
モノニ非サルナリ

(二十九) 官吏ト營利的業務トノ關係ニ就テノ

古典

大學ニ「孟獻子曰ク馬乗ヲ畜ヘハ雞豚ヲ察セス
伐冰ノ家ハ牛羊ヲ畜ハス百乗ノ家ハ聚斂ノ臣ヲ
畜ハス其聚斂ノ臣アラシヨリハ寧ロ盜臣アラ
シトアリ鄭注ニ「馬乗ヲ畜フハ士ヲ以テ初メテ
試驗ニ合格シテ大夫ト爲ルヲ謂ヒ伐冰ノ家ハ卿
大夫以上喪祭ニ冰ヲ用ユ百乗ノ家ハ采地ヲ有ス
ル者ナリ雞豚牛羊ハ民ノ畜養シテ以テ財利ト爲
ス所ノ者ナリ」トアリ是ニ由レハ春秋時代ニ士
タリ卿大夫タル官吏ハ雞豚牛羊ヲ畜養シテ民ト
利ヲ爭ハサルヘキヲ當時ノ賢人孟獻子即チ魯ノ
大夫仲孫蔑カ説カレタルナリ
左傳文公二年ノ傳文ニ「仲尼曰ク臧文仲其不仁
ナル者三アリ展禽ヲ下ニシ六關ヲ廢シ妾ハ蒲ヲ

織ル三不仁ナリ」トアリ展禽ハ賢人柳下惠ナリ
六關ハ塞關陽關ノ屬ナリ臧文仲ハ有名ナル賢大
夫ナレトモ孔子ハ其不仁三ケ條ヲ擧ケ柳下惠ノ
如キ賢人ヲ下位ニ居ラシメタルハ一不仁ナリ關
所ハ末游ノ民ヲ禁絶スル必要ノ公共營造物ナル
ニ之ヲ六ケ所モ廢シタルハ二不仁ナリ其家人ヲ
シテ蒲ヲ織ラシメ民ト利ヲ爭ヒタルハ三不仁ナ
リト謂ヘリ此第三ハ本項ニ關係アルモノトス
孟子滕文公篇「有爲神農之言者許行」ノ章ニ孟子
ハ許行カ賢者ハ民ト并ヒ耕シテ食フノ説ヲ駁シ
治者被治者ノ分業ヲ詳カニ力説セリ今復擧ケス
讀者宜シク就テ見ルヘキナリ
又孟子盡心篇ニ「公孫丑曰ク詩ニ曰ク不素餐」
分ト君子ノ耕サスシテ食フハ何ソヤ孟子曰ク君
子是ノ國ニ居ルヤ其君之ヲ用フレハ則チ安富尊
榮其子弟之ニ從ヘハ則チ孝弟忠信素養セサル孰
レカ是ヨリ大ナラン」トアリ
荀子儒效篇ニ曰ク「高下ヲ相、堯肥ヲ視、五種
ヲ序スルハ君子農人ニ如カス財貨ヲ通シ、美惡
ヲ相シ、貴賤ヲ辨スルハ、君子賈人ニ如カス、

規矩ヲ設ケ、繩墨ヲ陳シ、備用ヲ便ニスルハ、
君子工人ニ如カス」トアリ

又同書君道篇ニ曰ク「人ノ百事ハ耳目鼻口ノ以
テ官ヲ相借ル可カラサルカ如シ故ニ職分レテ民
ハ探セス（職分既定マリ探索ヲ待タサルナリ）次定マリテ序ハ亂レス」
トアリ官吏ニハ官吏ノ職司アリ農工商ニハ農工
商ノ業務アリ相混淆スヘカラサルヲ謂フナリ